

《2013年12月例会＝お宝映像上映会兼忘年会報告》

【日 時】2013年12月28日（土）18：00～22：00 頃中締め→その後しばらく（電車で帰れた）

【会 場】football rounge 4-4-2（フットボールラウンジ 4-4-2）

東京都墨田区江東橋4-1 6-5 SKビルB1F

TEL：03-5600-9177

総武本線「錦糸町町」南口下車徒歩数分

【参加者（来た順）20名】中塚義実（筑波大学附属高校）、金子正彦（会社員）、※国島栄市（ビバ！サッカー研究会）、阿部博一（日本サッカー史研究会）、牛木素吉郎（ビバ！サッカー研究会）、笹原勉（日揮）、白髭隆幸（国際スポーツプレス協会）、小池靖（浦和文蔵サッカースポーツ少年団）、※林正明・※佐藤幸人・※北島史子（ムサキタ高校サッカー部）、安藤裕一（筑波大ハンドボール部OB）、屋繁男（関大サッカー部後援会）、徳田仁（株）セリエ）、鈴木崇正（NECデザイン&プロモーション）、白井久明（弁護士）、森政憲（筑波大学大学院）、北原由（都立武蔵附属中）、奥崎覚（株式会社エリー）、岸卓巨（青年海外協力隊OB）

注1）※は未会員。

注2）参加者は所属や肩書を離れた個人の責任でこの会に参加しています。括弧内の肩書きはあくまでもコミュニケーションを促進するため便宜的に書き記したものであり、参加者の立場を規定するものではありません。

【経過と概要】

18：00 前後 … 徐々に集まるサロンの面々

ダウンロードした地図と住所を頼りに錦糸町駅から歩いて数分。近くへ来たかなと思ったところで不動産屋で聞いてみると、会場は斜め向かいのビルの地下でした。はじめての人にはわかりにくいところですが、室内は思っていた以上に広く、荷物を片方に寄せてもまだソファでゆったりくつろげるスペースがあります。サロンの飲み会史上、もっとも“ゆとり”のある会場でした。

映像チェックをしているうちに、続々と人が集まります。開始予定の18時ごろにはそれなりの人数が集まり、お店の方の準備もできたので、ビールでアップを開始しました。オープニング映像は「GINGA」。「世界最高のテクニックを誇る、ブラジリアンフットボールの魅力とは!? ブラジル人の魂に宿る“ジンガ”を美しいプレイと証言で綴る、ファンタジックでリアルなドキュメンタリー」と紹介される、2005年につくられたドキュメンタリーです。

18：15 ごろ … 忘年会スタート。「ペレ」のドキュメンタリーへ

15人ぐらいに増えてきたところで、理事長の音頭で「かんぱ～い」。映像は「ペレ」に切り替えました。求めていた「1972年5月26日の日本 vs サントス」の映像は手に入らなかったけど、その試合のプログラムを阿部氏が持って来てくれました。中学生の筆跡で持ち主の名前が書かれたプログラムを回覧しながら見た映像は、数年前にフジテレビ739で放送された45分もののドキュメンタリーです。主にワールドカップでのペレとブラジル代表のプレーを中心に、FCサントスや、NASLのニューヨーク・コスモスでのプレー場面も楽しめます。

1970年大会では、ペレが得点できなかったシーンに名場面が多くあります。イングランド戦で、右からのクロスを完ぺきにとらえたペレのヘディングシュートがゴードン・バンクスに防がれたシーン、

ウルグアイ戦では名 GK マズルケビッチを、ペレがボールに触れずにかわしたものの、シュートは惜しくも左にそれたシーンなど、世界中の（ある年代以上の）人が長く記憶にとどめている場面です。キング・ペレは、プレーや人柄が「王様」だっただけでなく、テレビというメディアの急成長期に世に出たという意味で、タイミング的にも「王様」だったと言えるかもしれません。

19:00 ごろ … ペレ引退。参加者の自己紹介

19:00 頃にペレが引退します（映像上）。参加者はそれぞれ好きなものを飲み食いしながら、けっこういい感じでできあがってきました。はじめての人も多かったので、ここで自己紹介。2014 年 6～7 月をどこでどう過ごすかについてのアイデアもいくつか紹介されました。楽しみです。

ひと通り自己紹介が終わったところでお店のオーナーをの紹介しました。中塚のいとこの齋藤宣彰氏です。「メディアに出てこない、サッカーの戦術の話題や監督論やスポーツ文化について語れるような場所をつくりたい」と相談された中塚が言ったのは、「一度サロンに来てみたら?」ということで、2013 年 2 月の月例会に、社員の今廣佳郎氏とともに参加したのが始まりです。サロンでできたネットワークも生かしながら準備を進め、12 月 5 日にオープンしたばかりのこのお店を、これからもひいきにしてくださいね！

20:15 ごろ … 1982 年の NHK 「スポーツアワー」

自己紹介がひと通り終わり、トイレ休憩をはさんだ後半戦、1982 年スペイン大会の 2 次リーグから「ブラジル vs アルゼンチン」を見ることにしました。

その前に、この試合が行われた日の NHK のスポーツニュースを、またもや阿部さんが持って来ていたのでみることにしました（何でこういう映像があるのかはわかりません。不思議な方です）。ワールドカップ期間中であれば、今ならもちろんサッカーの話題が最初にあるはずですが、この頃は違います。最初に出てきたのは阪神 vs 巨人の甲子園のゲーム（小林と江川が投げ合ったのは確かに興味深い話題です）。その次はパリーグ。その次は「ニッカン陸上ワールドカップ」（これが何なのかはよくわからない）。そして最後によくよくワールドカップです。映像つきだったのでまだましでしたが、この頃の私はテレビにかじりつきながらいつも NHK に裏切られた（映像すらないときもしばしばでした）のを思い出しました。アナウンサーの土門正夫さんも見覚えがあります。

20:30 ごろ … 1982 年スペイン大会 2 次リーグ 「ブラジル vs アルゼンチン」

そしてお楽しみのゲームです。会場はバルセロナのサリア・スタジアム（今はもうない）。サンパのリズムで素晴らしい雰囲気です。

24 チーム参加のこの大会は、4 チームの 1 次リーグのあと 3 チームずつの 2 次リーグ、その 1 位が準決勝に進出するという変則的なトーナメントでした。前回優勝のアルゼンチンと優勝候補筆頭のブラジル、そして、後にこの大会の覇者となるイタリアが同じグループに入り、数々のドラマが生まれるこのグループの第 2 戦です。すでにイタリアに 1 敗しているアルゼンチンにはあとがない状況です。

さあ、キックオフ…。けどワインがおいしくて、会話が楽しくて…。正直あまり見ていませんでした（この試合は何度も見ているので、内容はよく覚えています）。

22:30 ごろ … 中締め

お約束の 4 時間が過ぎました。東京の東のはずれなので、帰れなくなる人もボチボチ出てきます。中締めをして、あとは三々五々。皆さんちゃんと電車に乗って帰れたはずですよ（大丈夫ですよ？）。今年も楽しい忘年会兼お宝映像上映会でした。

【参加者コメント】

◆中塚義実（サロン 2002 理事長）

ペレの試合映像を見たいという願いはかないませんでした。皆で 1982 年のブラジル vs アルゼンチンを楽しめたのはよかったです。けど大部分は飲み話りに費やし、あまり見ていませんが…。

大学 3 年生の夏でした。総理大臣杯のメンバーに入り、大阪府茨木市にあった日東電工の寮で合宿をしていた筑波大学蹴球部のメンバーとともにこの試合を見ていました。1979 年のワールドユースメンバーでもあった同期生の SJ 君は完全にアルゼンチンびいきでしたが、試合が進むにつれて無口になり、最後は泣きそうになっていました。私もアルゼンチンを応援していましたが、「ブラジルのサッカーおもしろい！」と感じ、そこからは一気にブラジルびいきになっていった私でした。

しかしそのブラジルは、次の試合でイタリアに敗れます。この試合は総理大臣杯終了後にそのまま帰省していた大阪の実家で友人とみていました。ブラジル頼むで〜と念じていたのですが…。

ブラジルが負けてしまったあと、私の願いはフランスが勝ち進むことでした。しかしそのフランスも準決勝で西ドイツに PK で敗れます。攻撃的なブラジルとフランスが 1982 年の大会で当たっていたらどんなゲームになっていただろうと、今でも残念でなりません。

この両者の対戦は 1986 年のメキシコで実現します。美しいゲームでしたが、登場人物がいずれも 4 年間のしんどさを抱え、見ている方もつらかったのを覚えています。ちなみにこの試合を現地で観戦し、「世界の時間を 2 度止めた男」がサロンにいますが、その話はぜひご本人から…。

会場を提供してくれた斎藤さん(というより「ノン君」)には感謝です。また利用させてもらいます！

◆牛木素吉郎（ピバ！サッカー研究会）

1. 1958 年スウェーデン・ワールドカップでペレがデビューしたときの映像のものは映画フィルムだったと思います。それを現在、ビデオで見ることができるのは幸せです。
2. 1970 年メキシコ大会で、ペレの最後のワールドカップを現地で見ることができました。これも生涯の幸せです。
3. 1982 年スペイン大会で、イタリア対ブラジルの試合を見ました。後にファルカンにインタビューしたとき「あの試合を見たぞ」と言いました。ファルカンは「そんな試合あったかな？」と答えました。
4. 1986 年メキシコ大会のフランス対ブラジルも現地で見ました。プラティニとジーコの PK 失敗を覚えています。この 2 人にも、のちに親しくインタビューする機会がありました。
5. ペレの初期の映像を見て、ゴール前での個人のテクニックは現在の選手以上だと感じました。ペナルティエリア内で相手もかわしてゴールを決める能力は、現在でも必要です。
6. 黄金のカルテットの映像を見て、中盤のパスのすばらしさは、現在のトップレベル以上だと思いました。流動的に動きながら、判断のすばやささと正確さは驚異的です。
7. こういう「お宝映像」はエミレーツ航空の機内のビデオ（FIFA チャンネル）で、いろいろ見ることができます。ブラジル・ワールドカップを見に行くときドバイ経由の往復は「お勧め」です。ただしネットで見たところ、12 月末現在の 6 月の往復運賃は、いちばん安い航空会社より 5 万円ほど高いようです。
8. ブラジルに行くと、リオやサンパウロのサッカー・ミュージアムでペレやブラジルの「お宝映像」をみることができます。日本のサッカー・ミュージアムでも、映像権の問題がない映像を、いろいろ見ることができるようにして欲しいものです。

◆安藤裕一（筑波大学ハンドボール部 OB）

はじめていく football rounge 4-4-2 は錦糸町のビルを地下 1 階にありました。ほぼ定刻に行ったので

すが、すでに気の早い人たちが5人くらいビールを飲み始めていました。

斎藤さんのこのお店は、「ラウンジ」という名前にふさわしく、ゆとりのあるスペースに座り心地の良いソファ、大画面のスクリーンの数々、そしてもちろんおいしいお酒もたくさん振る舞ってくれ、大いに楽しませていただきました。

映像を見始める前に気持ちよく酔ってしまったのでせっかくのお宝画像も断片的にしか見れておらず残念です。

それはともかく、2013年を締めくくる良い忘年会を過ごさせていただきました。

ありがとうございます&2014年もよろしく願います。

以上